

パソコン活用絵描く神戸でICT講習会

東灘区の神戸ファッショ

ン。マートでは、障害のある中高

生が、情報通信技術(ICT)

活用法を学ぶ「ICTスキル

アップ夏期講習会」が行われ

た。参加した10人は、プロイ

ラストレーターに指導を受

け、パソコンを使って絵を描

く方法などを学んだ。

障害者の就労支援などに取

り組む社会福祉法人「プロッ

プ・ステーション」(東灘区)

が、神戸市の委託を受けて企

画。8日までに全6回開講す

講座では、同法人の竹中ナ

ミ理事長(69)が「ICTを使

う仕事に理解を深め、将来の

選択肢を増やしてほしい」と

あいさつした。

生徒らはイラスト作成ソフ

トを操作して、自分自身や家

族らの顔を再現することに挑

戦。目や口や髪型などのパー

ツが100種類以上もあり、

試行錯誤しながら顔を組み合

わせた。

絵を描くことが趣味という

山内咲那さん(14)は「神戸市立
盲学校3年」は「使うのは難

しいが色の変更などの機能が
便利。パソコンで電車を描く
ところまで技術を高めたい」
と意気込んだ。

(末吉佳希)



夢中で学ぶ先端技術

パソコンの使い方
を学ぶ生徒は神戸市東
灘区向洋町中6